

原子力リスク研究センター（NRRC） 第7回 技術会議 議事録

1. 日 時：2015年10月30日（金）10：00～12：00

2. 場 所：電力中央研究所 大手町本部 役員大会議室

3. 出席者（順不同、敬称略）

主査：横尾（NRRC）

委員：榎（北海道電力）、滝澤（東北電力、増子代理）、五十嵐・川村（東京電力）、名倉・増田・仲村（中部電力、鈴木代理）、米原（北陸電力、高橋代理）、森中・大石・鈴木（関西電力）、大田（中国電力、岩崎代理）、川西（四国電力）、岡野（九州電力）、坂井（日本原電、石坂代理）、大柿（日本原燃）、萩原（電源開発、静岡代理）、野田（東芝）、今野（日立 GE）、河野（三菱重工）、倉田（原安進）、示野・座間・酒井・植田・金谷（NRRC）

NRRC 幹部：アポストラキス所長、横山所長代理、尾本技術顧問

4. 議事概要（◆産業界委員、◇電中研委員）

(1) NRRC の活動状況について

示野委員より、技術諮問委員会の状況や、シンポジウムの開催結果について報告がなされた。

（主なコメントは特になし）

(2) 研究開発状況について

横尾主査、座間・酒井研究コーディネータより、研究開発状況について説明を行った。

（主なコメントは特になし）

(3) 上記の説明・報告事項を踏まえて、所長との意見交換を行った。

（主なコメントは以下の通り）

◇（所長）：NRRC が発足して一年になるが、伊方3号機をモデルプラントとしたPRAの改善については、電気事業連合会のPRA活用推進タスクチーム、技術諮問委員会の協力もあり、大きな前進が見られたと思う。

◇（所長）：各社で堅牢なリスク管理の体制を構築していくことになるが、米国の事例からは有益な情報を学ぶことができると思う。

◆：伊方3号機のPRA改善の詳細な情報について、各社間で共有できる仕組みが必要になる。

◆：NRRC が、実地に役立つ研究をしていくことについては、我々もサポート

したい。実際に、電中研の研究者に、発電所の設備や運転を見て、経験してもらうのがよいと思っている。

- ◆：最終的な PRA モデルはプラント毎に作るようになるが、その過程で、NRRC によるレビューや助言を得られるような仕組みを作ってもらえると有難い。
- ◆：メーカーとしても PRA の実施をサポートしてきた経験とノウハウがあり、積極的に協力していきたい。

以 上